

人口動向分析

宇治市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)は、国立社会保障・人口問題研究所が平成22年国勢調査人口を基準として推計した値を基に、国の長期ビジョンに示された合計特殊出生率と合わせて令和2年度に社会動態が0人になることを目標として推計しています。

人口ビジョンと平成27年度国勢調査人口に人口動態を反映させた推計人口を比較すると、表1のとおり、宇治市の人口は平成27年において人口ビジョンを下回り、その差は広がってきています。次に、表2の人口動態の推移をみると、自然動態(出生－死亡)は減少し続けており、社会動態でも、人口流出が2018年(平成30年)までは抑制傾向にあったものの、2019年(令和元年)に再び増加しています。

その一方で、表3の第1期創生総合戦略期間における社会動態では、子育て支援施策を重点的施策として位置付け、積極的に事業を展開する中で、児童(0～17歳)は転入超過となっています。

これらのことから、地方創生の取組の効果が一定、表れているものとも推測されますが、人口減少は大きく進展しています。第2期創生総合戦略においても、人口動態を注視しながら、より効果的な施策が実施できるよう、具体的な施策に定める事業をより充実させる必要があります。

表1 人口ビジョンと推計人口との比較

	2010 H22	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	...	2060 R42
人口ビジョンA	189,609	187,586	187,340	187,093	186,846	186,599	...	152,985
推計人口(※)B	189,609	184,678	183,711	182,921	182,170	180,975		
B - A	0	▲ 2,908	▲ 3,629	▲ 4,172	▲ 4,676	▲ 5,624		

※平成22・27年度は国勢調査の人口。平成28年度以降は、平成27年度国勢調査の人口をベースにその後の自然・社会動態を反映した人口

表2 人口動態

	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31
自然動態	168	56	▲ 11	▲ 135	▲ 290	▲ 344	▲ 374	▲ 455	▲ 561	▲ 724
社会動態	▲ 220	226	▲ 524	▲ 803	▲ 656	▲ 889	▲ 575	▲ 318	▲ 202	▲ 536
合計	▲ 52	282	▲ 535	▲ 938	▲ 946	▲ 1,233	▲ 949	▲ 773	▲ 763	▲ 1,260

※自然増減は、当該年中(1月～12月)の「出生－死亡」の人数

※社会動態は、当該年中(1月～12月)の「転入－転出」の人数

表3 第1期創生総合戦略期間における社会動態 (単位:人数)

平成27年度～令和元年度の合計											
世代	0-5歳	6-11歳	12-17歳	18-23歳	24-29歳	30-34歳	35-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	計
人数	414	▲ 18	69	157	▲ 1,543	▲ 262	▲ 173	▲ 95	▲ 234	▲ 134	▲ 1,819

※入力日基準における集計結果

児童(0～17歳)	465
-----------	-----

※年齢は年度末年齢で集計